事務事業評価表

| 平成14年度 | 主要事業計画対象の | 有無 無 ▼ | | 電話 042 (| 769) 8354 |
|-------------|------------|-------------|----------|----------|------------|
| 担当部課名 | 保健福祉部 ▼ | 高齢者福祉 | 課 ▼ | | |
| 事務事業名 | 住宅改修相談事業 | | | 事業コード | 11210 |
| 1 総合計画における位 | 置づけ | | | | |
| 政 笙 夕 | 金 4 立 | ウシー アルチズキュ海 | カレナム ナ へ | ノハキオ | 事光明松仁舟 |

| 政策名 | 第 1 章 | 安心して生活できる福祉社会をつくります | 事業開始年度 |
|-------|--------|---------------------|---------|
| 基本施策名 | 第 2 節 | いきいきとした高齢社会の創造 | 13 — 佐藤 |
| 施策名 | 第 1 施策 | 地域ケアサービスの充実 | 15 十段 |

2 実施根拠及び関連法令等 相模原市住宅改修相談員設置要綱、相模原市非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例施行規則

3 事業概要

| (1)事業の目的 | | (2)対象(誰、何) |
|---|----------------|------------|
| 高齢者や障害者の自立と家族の介護負担軽減のための住宅 | 己改修に対し、情報の提供と | 市民一般 |
| 専門的指導・助言を行う。 | | |
| | | |
| | | 対象 |
| | | 数 |
| (3)平成13年度事業の内容 | (4)総合計画・実施計画にる | おける概要 |
| | なし | |
| 改修相談員(非常勤特別職)を配置し、住宅改修に係 | | |
| る各種相談への対応、情報提供を行った(週2日開 | | |
| 設、利用負担なし)。また必要に応じて、相談員と理 | | |
| 学療法士(場合により福祉事務所ケースワーカーも同 | | |
| 行)による訪問調査を行い、改修に関する指導助言等 を行った。(南北で月1回実施) | (こ) 個別制度の概要 | |
| | (5)個別計画の概要 | |
| · H13年度予算 相談員報酬3,360千円(日給15, | 計画名 | |
| 000円×112日×2人)、費用弁償101千円 | 計画年次年 | 度~ 年度 |
| | なし | |
| | | |

4 評価指標

| 指標名 | 1日あたりの取扱件数(平均) | |
|-------------|---|--|
| 指標式 | 年間取扱件数/相談員配置日数(2人) (H13年度145件/224日=0.6件) | |
| 指標設定 の意図 | 利用状況を表す | |

5 日煙と宝績 「全額単位・千円)

| J | 日信に天浪 | | | | | | | 【 立 競 半 位 ・ 十 门 】 |
|----|----------|--------|--------|---|---------|-----|--------------|-------------------|
| | / | 平成11年度 | 平成12年度 | 平 | 成13年度(訂 | 平価文 | 才象年度) | 平成14年度 |
| | | 実績 | 実績 | | 実績 | | 目 標 | 目標 |
| | 指標 | | | а | 1 | Ь | 1 | |
| | 指標 | | | С | | d | | |
| | 指標 | | | е | | f | | |
| _ | 決算 (予算)額 | | | | 3,158 | | 3,461 | 3,390 |
| 事 | 人員・時間数 | | | | 0.083人 | | 0.083人 | 0.083人 |
| 業 | | | | | 702 | | 702 | 702 |
| 赤費 | その他経費 | | | | | | | |
| | 合 計 | 0 | 0 | | 3,860 | | 4,163 | 4,092 |
| | 特定財源 | | | | 2,367 | | 2,595 | 2,542 |

| | 価 | | | | |
|------------|--|--|-------------------------------------|--|--|
| (1)達成度 | ₹·・・目標をどれだけ遺 | を成したか | <u>'</u> | | |
| 評価 | A:達成している | (1 | 100%) | | |
| C ▼ | B:一部達成していな | ll(100%> | > 80%) = , | 、 の平均値 = | 60.0% |
| , | C : 達成していない | (80%> |) | | |
| а | 0.6 | ` | C | | e |
| b | 1.0 × 100= | 60.0% | | −× 100= | <u>f</u> × 100= |
| ~ | _ | づき 良好 | <u> </u> | 数が低かったため | 1 |
| 理由: | 旧成于未は、女們に全 | Je, kx | | XX/11/10/11/2/11/2000 | |
| | | | | | |
| (2)必要性 | ・・・・時代変化に適応し | た事業は | 内容か | | |
| 評価 | A:適応している | | | いらも 市民に情報 | 提供や、専門的指導・助言をしていくこ |
| | B:一部適応していない | | とは、重要である。 | , , , , , , , , , , , , , , , , , , , | ALLEY () STEELS AS ELECTRICAL |
| | C : 適応していない | | C.O (000) | | |
| (3)経済性 | t·効率性・・・費用対効 | 果は妥当 | 当か | | |
| | A : 妥当である | | | 、住宅環境につい | 1て専門的な指導等は重要と考える。 |
| | B:一部妥当でない | | 71 12 3 173 0 22 9 0 22 9 | (12 8 20 70 12 2 | 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 |
| | C : 妥当でない | 1 | | | |
| (4)事業の |)代替性・・・県、民間と | の役割が | 分担のあり方から見て、 | 市が実施していく | ことが適当か |
| | | | | | 提供や、専門的指導・助言をしていくこ |
| | B:代替の可能性低い |] | とは、重要である。 | | |
| | C:代替の可能性高い | | | | |
| (, | 請足度・・・対象市民の | | | | |
| 評価 | A:満足できる | | 利用者負担は無料であ | 5ること。相談員が | 1級建築士の資格をもつ専門家であるこ |
| A - | B:一部満足できない | | と。 | | |
| , , | C:満足できない | | | | |
| | <u>ŧ・・・当該事業は上位</u> | の施策を | 実現する上で有効か | | |
| 評価 | A:有効である | 理由: | 在宅生活の支援を進め | る中で、住宅環境 | 竟の整備を推進し、介護予防を図る上で |
| A ▼ | B:一部有効である | | 有効である。 | | |
| , , | C:有効でない | | | | |
| | | | | | |
| ≐亚/亜ノギ | *ニンフエム し 達 | 成度 | | 成果向上の余地 | |
| 評価バ | | 成度 ↓ | | 成果向上の余地 | ! 説明: |
| 評価バ | A | + | | 成果向上の余地 | |
| 評価バ | A B | + | N. T. III. | ▽ ある | 説明: |
| 評価バ | A | + | 必要性 | _ + 7 | 説明: 利用増を図るため、周知方法を検討す |
| 評価バ | A B | + | 必要性 | ▽ ある | 説明: 利用増を図るため、周知方法を検討す |
| 評価バ | A B | + | 必要性 | | 説明: 利用増を図るため、周知方法を検討す |
| 評価バ | A B | + | 必要性 | ▽ ある | 説明: 利用増を図るため、周知方法を検討す る。 |
| 評価バ | A B 有効性 | + | 必要性 | | 説明: 利用増を図るため、周知方法を検討する。 記明: |
| 評価バ | A B 有効性 C | + | | | 説明: 利用増を図るため、周知方法を検討す る。 |
| 評価バ | A B 有効性 | | 必要性 経済性·効率性 | ☑ ある□ ない□ なる□ ある | 説明: 利用増を図るため、周知方法を検討する。 記明: |
| 評価バ | A B 有効性 C C | | | | 説明: 利用増を図るため、周知方法を検討する。 記明: |
| 評価バ | A B 有効性 C C B A | | | ☑ ある□ ない□ ない□ ある | 説明: 利用増を図るため、周知方法を検討する。 記明: |
| 評価バ | A B 有効性 C C B A | | | ☑ ある□ ない□ ない□ ある | 説明: 利用増を図るため、周知方法を検討する。 記明: |
| 評価バ | A B 有効性 C T T R R A B A B A B | | | ☑ ある□ ない□ ない□ ある | 説明: 利用増を図るため、周知方法を検討する。 記明: |
| | A B 有効性 C C B A 事業の | | | ✓ ある□ ない□ よる□ ある✓ ない | 説明: 利用増を図るため、周知方法を検討する。 説明: 報酬は、基準単価であるため |
| 7 総合評(| A B 有効性 C T T R R A B A B A B | D代替性 | 経済性·効率性 | ✓ ある□ ない□ よる□ ある✓ ない | 説明: 利用増を図るため、周知方法を検討する。 説明: 報酬は、基準単価であるため |
| | A B 有効性 C C B A 事業の | | 経済性·効率性 | ✓ ある□ ない□ よる□ ある✓ ない | 説明: 利用増を図るため、周知方法を検討する。 説明: 報酬は、基準単価であるため |
| 7 総合評(| A B 有効性 C C B A 事業の | 0代替性 | 経済性·効率性 | ✓ ある□ ない□ よる□ ある✓ ない | 説明: 利用増を図るため、周知方法を検討する。 説明: 報酬は、基準単価であるため |
| 7 総合評任 | A B A F ▼ | の代替性 | 経済性·効率性 | ✓ ある□ ない□ よる□ ある✓ ない | 説明: 利用増を図るため、周知方法を検討する。 説明: 報酬は、基準単価であるため |
| 7 総合評任 | A B 有効性 C C B A 事業の | 代替性をはいる。 | 経済性·効率性 | ✓ ある□ ない□ よる□ ある✓ ない | 説明: 利用増を図るため、周知方法を検討する。 説明: 報酬は、基準単価であるため |
| 7 総合評(| A B F A A F A A A A A A A A A A A A A A | 世間の事のとは、一般などは、一般ないは、一般などは、一般ない、一般などは、一般などは、一般などは、一般などは、一般などは、一般などは、一般などは、一般などは、一般などは、一般などは、一般ないは、一般などは、一般などは、一般などは、一般などは、一般などは、一般などは、一般などは、一般などは、一般などは、一般などは、一般などは、一般などは、一般などは、一般などは、一般などは、一般などは、一般などは、一般などは、一般ないは、一般などは、一般などは、一般ないは、一般などは、一般などは、一般ないは | 経済性·効率性 | ✓ ある□ ない□ よる□ ある✓ ない | 説明: 利用増を図るため、周知方法を検討する。 説明: 報酬は、基準単価であるため |
| 7 総合評任 | A B A F ▼ | 世には、一世の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本 | を 経済性・効率性 他市での実施もあるが | ☑ ある□ ない□ よい□ ある☑ ない☑ ない☑ ない | 説明: 利用増を図るため、周知方法を検討する。 説明: 報酬は、基準単価であるため |
| 7 総合評(評 価 | A B G C B A 事業の A A ▼ A A A A A A A A A A A A A A A A | 世には、一世の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本 | 経済性・効率性 他市での実施もあるが 在宅生活の支援を進め | ✓ ある□ ない□ スト改善余地□ ある✓ ない◇ 本市より開催回数 | 説明: 利用増を図るため、周知方法を検討する。 説明: 報酬は、基準単価であるため |
| 7 総合評(| A B F A A F A A A A A A A A A A A A A A | 世には、一世の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本 | 経済性・効率性 他市での実施もあるが 在宅生活の支援を進め | ✓ ある□ ない□ スト改善余地□ ある✓ ない◇ 本市より開催回数 | 説明: 利用増を図るため、周知方法を検討する。 説明: 報酬は、基準単価であるため 対は少ない。 |

8二次評価における変更点

完 了